

# 牛久：学校周辺に見る自然

第71号 牛久自然観察の森

2012年2月24日発行

＜ 『野鳥大好き講座』に参加しました。 ＞

ちょっと、日にちがたってしまいましたが、1/29に参加した、牛久自然観察の森の『野鳥大好き講座』で見られた鳥と、冬ごし中のとんぼをご紹介します。「講座（こうぎ）」などというともわずかに聞こえるかもしれませんが、初心者向けの、野鳥に親しめる楽しい観察会でした。

当日のようすは、観察の森のブログで紹介されています。こちらもぜひ、ご覧下さい。

<http://ushiku-mori-nikki.cocolog-nifty.com/blog/2012/01/post-7110.html#more>



まずは、ネイチャーセンター前にキジバトがあらわれました。首の青灰色と紺（こん）のしまもようが特徴。盛んに地面をつついていましたが、草の種子でも食べていたのでしょうか？

← エサを食べているのか、しきりに地面をつつくキジバト。



続いて、ジョウビタキ。冬鳥で、オスもメスも1羽でなわばりをもつそうです。そのため、一度飛び去っても、待っていれば、また同じ場所にもどってくるとのこと。

← オスもメスも、1羽でなわばりをもつジョウビタキ（写真はメス）。昆虫やクモ、木の実などを食べる。



そして、メジロが来ました。目のまわりが白いので、「目白：めじろ」。木の実をついばんだり、花の蜜を吸う場面をよく見かけますが、昆虫やクモなども食べるそうです。写真のヌルデの実を食べていました。

← ヌルデの実を食べにきた、メジロ。



↑ ムラサキシキブの実を食べていた、ルリビタキ（めす）。 木の実や昆虫などを食べる。

道路を<sup>わたり</sup>渡り、「コジュケイの林」に入ると、いつもだとシジュウカラなど数種の野鳥が<sup>でむかえ</sup>出迎えてくれるのですが、この日は風があったせいか、なかなか出てきてくれませんでした。しかたなく、ヒサカキやムラサキシキブなど、鳥が好んで食べる木の実の観察などをしながら、半分、あきらめかけていた時、1羽の小鳥が飛んできました。ルリビタキのメスでした。昨年の冬にオスを見ていて、この日、ぜひ見たいと思っていたので、とてもうれしかったです。写真のムラサキシキブの実を食べていました。冬鳥で、木の実だけでなく、昆虫なども食べるそうです。



そして、おなじみのヒヨドリ。「ヒーヨ、ヒーヨ」とやかましく鳴き、ツバキの蜜を吸うかと思えば、いろいろな木の実もむさぼるように食べ、昆虫やカエルまで食べてしまいます。私は、「何でも食べちゃう、やかましい鳥」というイメージをもっていますが、1羽だけだと、どことなく愛きょうのある顔に見えます。

←木の枝のかけから、こちらのようすをうかがうヒヨドリ。木の実から、昆虫、カエルなど、何でも食べてしまう。



とまっている木の枝そっくりで、じっとしているホソミオツネトンボ。ね。今回は、鳥の<sup>さがしかた</sup>探し方に始まり、たくさんの方を教壇に立たせていただきました。ありがとうございました。

最後におまけで、「コジュケイの林」で教えていただいた、ホソミオツネトンボの冬ごしです。とまっている木の枝にそっくりです。

皆さんも、次回は参加してみませんか？ 楽しく学べますよ。

【理科支援員 宮内】